

日本手術看護学会九州地区鹿児島分会 周術期研修会報告

日 時 : 令和7年3月15日(土) 13:00~16:00

場 所 : 鹿児島県青少年会館 大ホール

テ ー マ : 「体温管理を極める: 1度の差がもたらす看護の力」

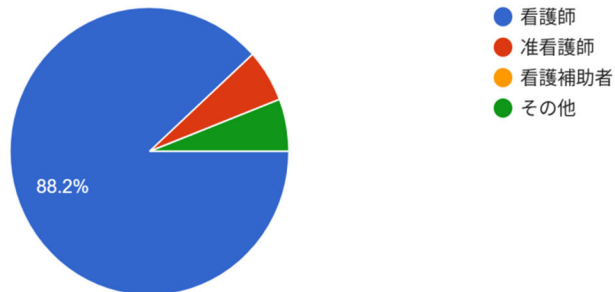
ー 明日から使える具体的な実践スキルー

参加者 : 74名

アンケート収集方法: 終了後 QRコードにて回答

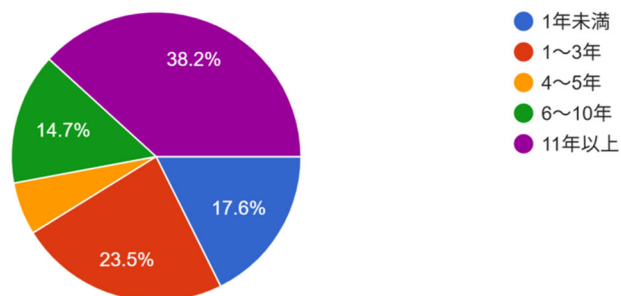
あなたの資格について

34件の回答



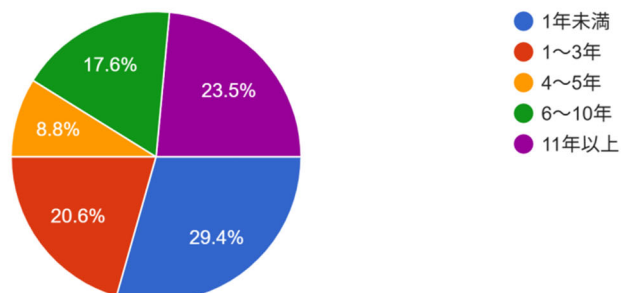
看護師としての実務経験年数

34件の回答



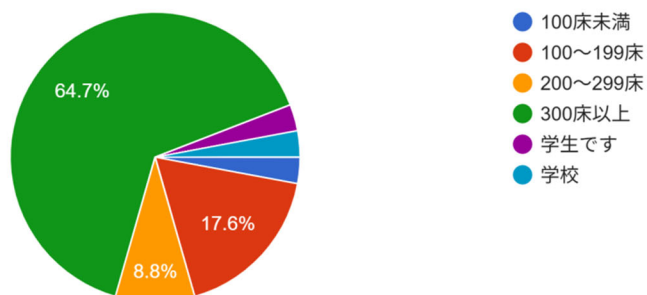
手術室看護師としての実務経験年数

34件の回答

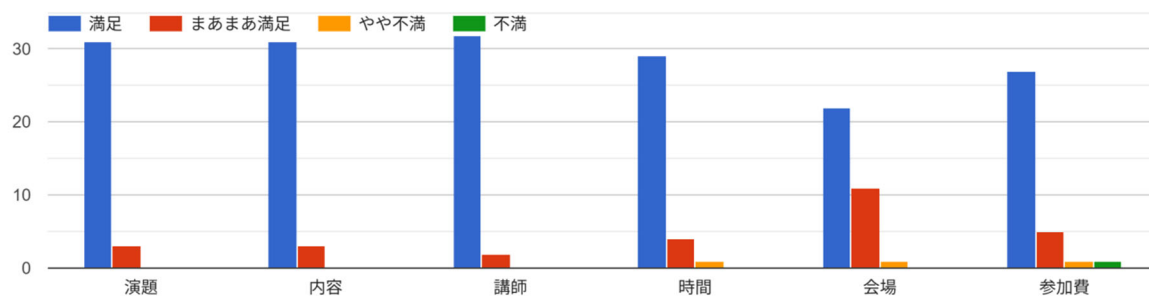


勤務施設の病床数

34 件の回答

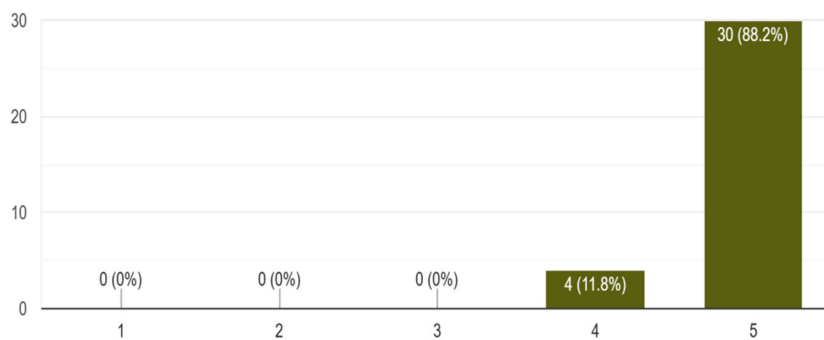


以下の内容にどの程度満足しましたか



ご自分の業務や看護に役立つ部分がありましたか。

34 件の回答



1.全くなかった

5.非常にあった

この研修会で印象に残った内容をご記入下さい
低体温熱傷の件
ブランケットによる事故
質疑応答がたくさん聞けて面白かった。
体温が変化する原理を知ること、どのような体温管理ができるか考えることが大事だと思った。
加温装置による低温熱傷を起こし、下肢切断した事例
術中の体温調節について
術中の体温目安
体温管理は看護師ができるバイタルサインであるため、麻酔科や執刀医とコミュニケーションをとることが大切だということ。
体温管理は看護師が介入しやすいということ
業者の人に直接話を聞いたのも良かった
「体温は看護師が唯一変えられるバイタルサイン」で講習でとても印象に残りました。
改めて外回りの際モニターだけでなく直接患者にふれ保温に努めていきたいと思います
プレウォーミング
術前から体温管理は始まっている。いかに患者を不快にさせないか。
プレウォーミングの大切さや周りの病院やアメリカでは徹底して行っていることを知ることができた
プレウォーミングの重要性
体温低下の機序
シバリングの怖さや体温管理の重要性をより学ぶことができた。
熱伝導の違いを把握して、体温管理のために使用物品を考えるところ。
『患者は身体を温めるための行動を麻酔がかかっているため抑制されて自分ですることはできない。では、誰がするか。私たちです。』と聞いて、今までよりも患者への看護により一層責任感が感じられました。
ウォーマーから粉塵が舞うこと
体温管理は看護師で出来る管理のひとつ。先入観などは持たずに看護を行う。
実践的な内容でとてもイメージしやすい研修内容であった
低体温になった時の加温方法
恥ずかしながら、プレウォーミングという言葉は初めて聞き、今後取り入れていけたらと思いました。

この研修会に関するご意見をお聞かせください
講師の方の話が上手かった。
先輩から教わった方法以外に保温の方法があることを知った。
体温管理についての知識が増え、根拠を持ってアセスメントを行い体温管理して行きたいと感じた。
とても勉強になりました。
まだ外回り入り初めの1年生からすると、とても勉強になる会でした。

会場が寒かったです。受講者の体温も配慮してほしい。
すごく勉強になり改めて自分の看護を見直す機会になりました。
手術時の体温管理の重要性を学ぶことができた。
明日から実践できる学びがたくさんありました。研修会に参加して良かったです。
まだ手術室看護師の経験が浅いため、基本的な体温管理の勉強に非常になった。 また周術期看護の勉強会がある際には、認定看護師の方々の意見を聞きながらのものをぜひ受けてみたいと思った。
浅野先生の講義の進め方が分かりやすくユーモアもあり楽しかったです。
今まで以上に体温管理や他職種との連携をはかりながら患者にとって 安全な医療の提供が行えるようにしていきたいです。ありがとうございました！
QRコードでの参加申し込みであったが、ちゃんと申し込み出来たかの確認が出来なかったので、申し込みに不安があった
体温管理について詳しく知ることが出来よかった
とてもわかりやすい講義でした。
体温管理や日頃の観察が非常に大切だと思った。

今後の研修会へのご希望(テーマや講師)がございましたらご記入下さい。6 件の回答
術後疼痛管理
シバリングについて、術前から術中の体温についての看護の実際を聞きたいです
このような研修を主催してくださりありがとうございます。
スキンケアや褥瘡、術前のケアから術中のケア、ドレッシング剤の使用方法和選択等について教えて欲しいです
麻酔について